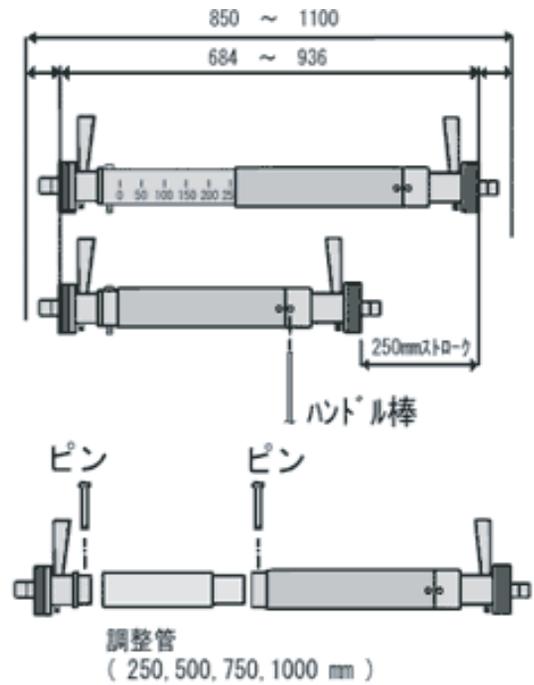
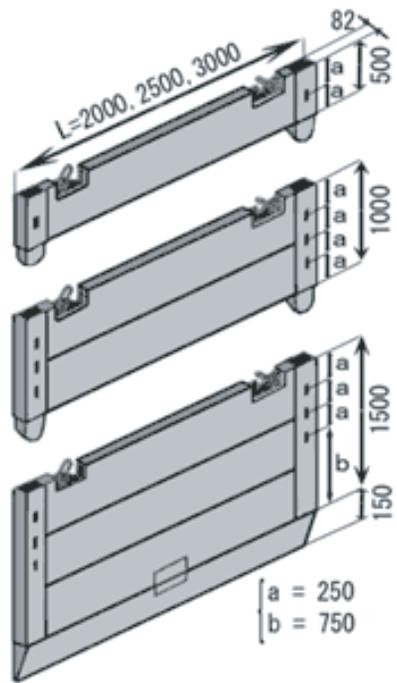


アルミ土留パネル部材

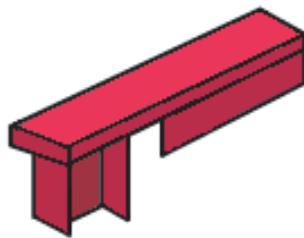
ご使用前には必ず部材、部品に破損、変形、ゆるみ等がないかチェックを行い、異常のあるものは使用しないでください。



－ オプション部品 －



組立スタンド



打入ピース



ハンドル棒 (サポート調整用)



吊りワイヤー



幅決めジャッキ



連結ボルト



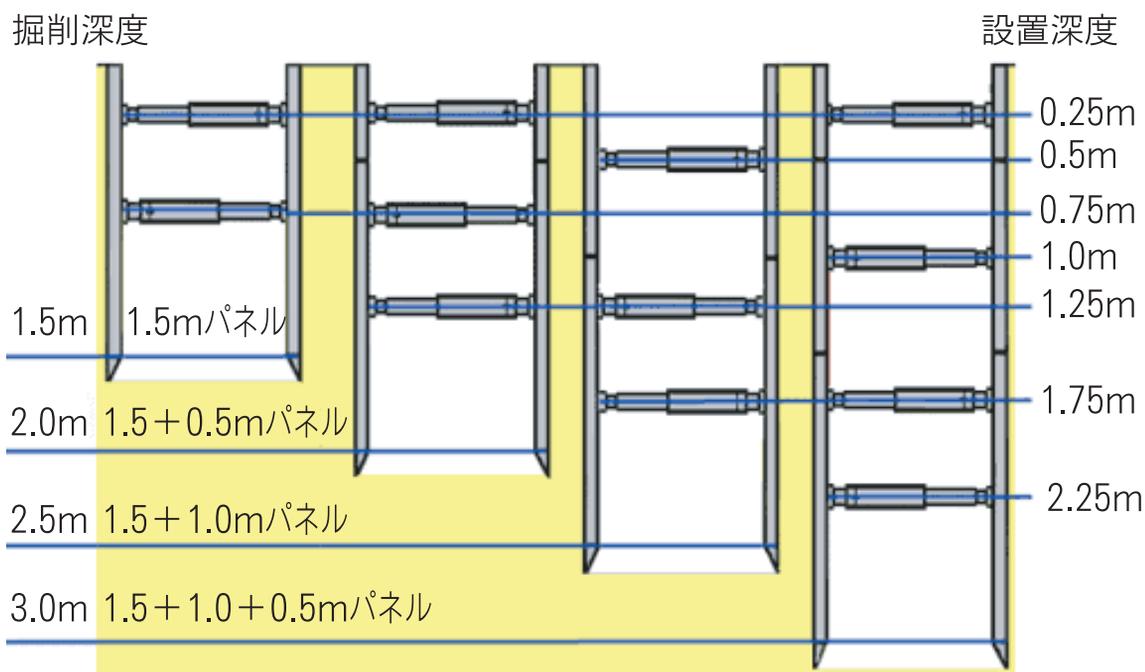
打ち込みピース (鉄製)

掘削深度とパネル組合せ、標準サポート位置

【注意事項】



- ご使用前に安全上の注意をよくお読みください。
- 設計条件(掘削深度、溝幅、土圧、等)を考慮の上、機材の選定、切梁位置の選定を行い、許容強度内でご使用ください。
- 掘削深度は、設定範囲 3 mまででご使用ください。
- 施工時には労働安全衛生規則を厳守してください。
- サポートは縦横とも、隣接するものは逆向きとなるよう、セットしてください。



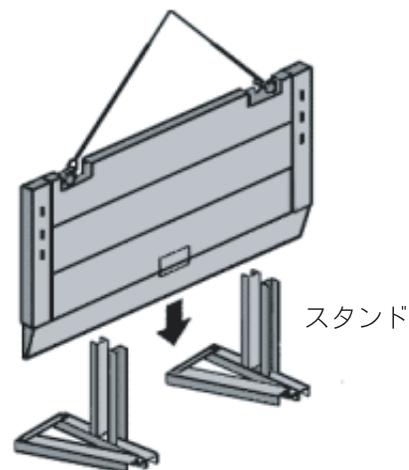
アルミ土留パネル組立手順

【注意事項】



- 吊り上げ、下げの際には、純正ロープをご使用ください。また、変形、亀裂等が無いことをご確認願います。
- 組立、建込み時には、各部材が転倒する範囲には立ち入らないでください。
- ご使用前には必ず部材、部品に破損、変形、ゆるみ等がないかチェックを行い、異常のあるものは使用しないでください。
- 本製品を改造、または純正部品以外を使用し、事故、故障等が発生しても責任は一切負えません。
- 組立は平坦で固い地盤にて行ってください。

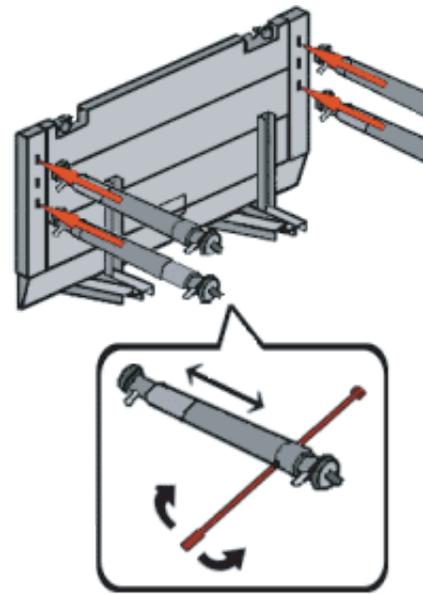
1 スタンドに最下段パネルを差し込む



2

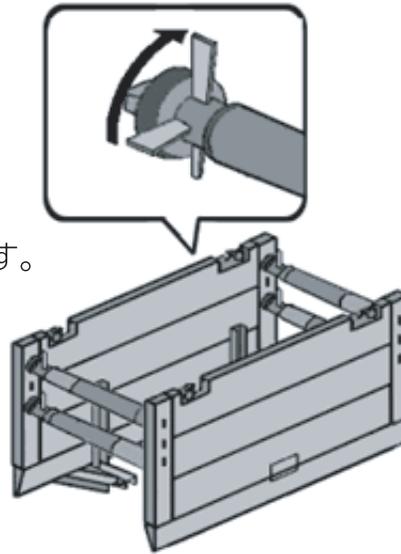
パネル所定位置に切梁 4 本をセットし、
掘削幅に合わせてハンドル棒を回し調整する

注意) サポートをセットする場合は、
上下左右に位置するものどうしは逆向きとする。

**3**

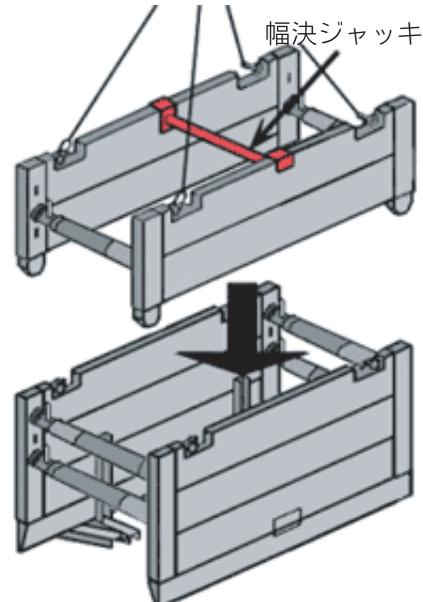
逆側に最下段パネルをセットし、
フック部をパネル側所定位置に
差し込む

フック部をパネル長穴に入れ、90度回す。
クサビを叩き込み、パネルをロック。

**4**

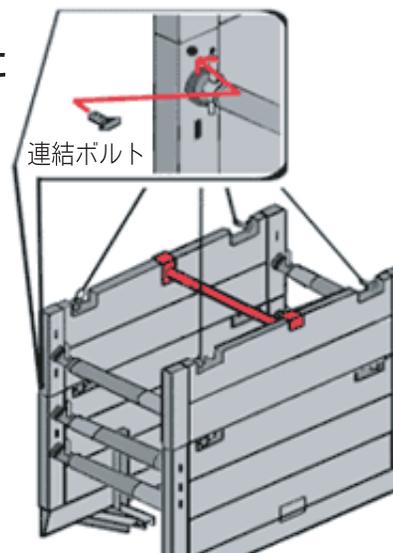
手順 3 と同様に次段パネルを組み、
幅決めジャッキをセット

4 点吊りにて下段ユニットに差し込む。

**5**

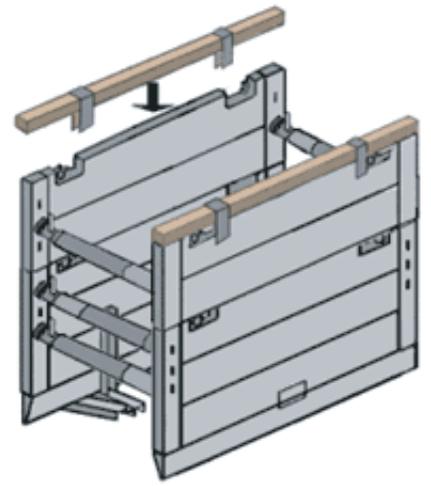
連結ボルトをエンド材ジョイント部に
ねじ込み固定し、ユニットを
吊り下げ掘削溝に投入

(これは 2 段一緒に建込の場合)



6

吊りワイヤーを外し、打込カバーを装着する



— アルミ土留パネル設置手順 —

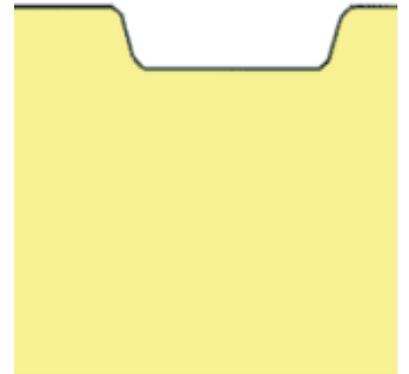
【注意事項】



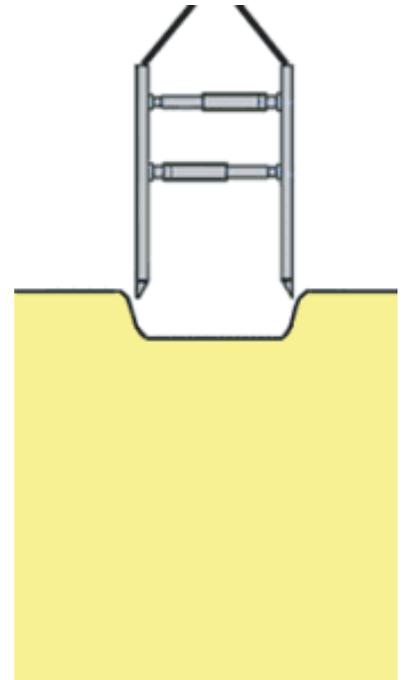
- 施工時にパネルと溝の間に隙間がある場合は、必ず裏込めを行ってください。
- 建込み時には必ず切梁端部クサビが垂直に弛みが無く打ち込まれていることをご確認ください。
- 建込み時には隣接するパネルが密着するように施工してください。
- パネルの押し込に時には必ず打込カバーを使用し、バックホーによる打撃はしないでください。
- バックホー作業時に、切梁、パネルにバケットが当たらないよう、作業してください。

1

深さ 0.5 ~ 1.0m 程度、予掘する

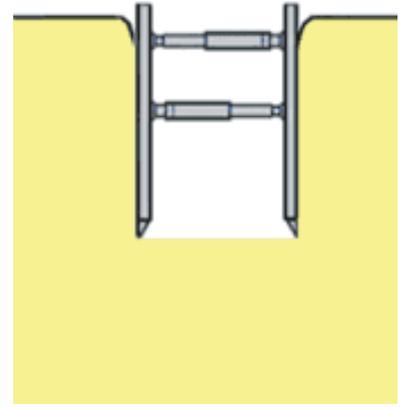
**2**

吊り具フック付のバックホウで、組み立てたユニットを吊り、予掘した溝に下ろす

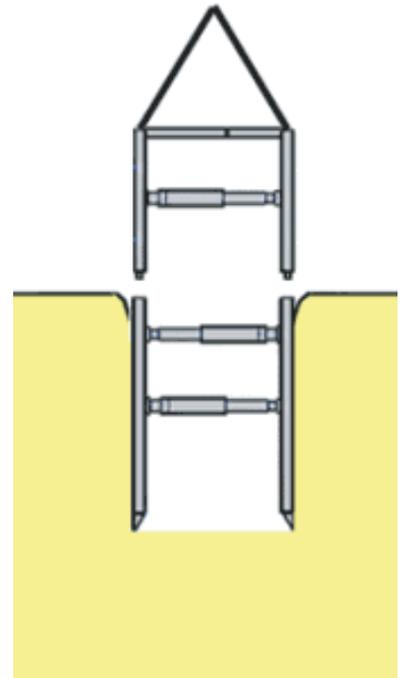


3

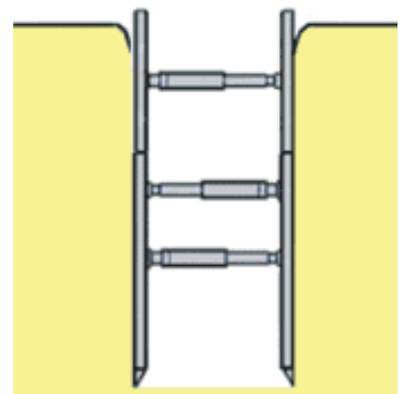
打込カバーをセットし、掘削しながらバックホウバケット腹部で打込カバー部を押し込む

**4**

打込カバーを外し、2段目ユニットを差し込み、連結ボルトで固定する

**5**

手順3と同様に、均等に押し込む

**6**

基礎工、配管設置後、所定の厚さまで埋め戻しを行う吊り具を取り付け、ユニットを引き抜く

